

25th

MACS

コロキウム

2024年度 MACS
学生説明会

2024年4月19日(金)

14:45~18:30

場所：北部総合教育研究棟 益川ホール(対面のみ)

【参加登録】

<https://forms.gle/XTdXjiUgLE1D3h6M9>

14:45~ ティータイムディスカッション

15:00~ 第25回 MACS コロキウム

「歯の人類学：歯の形の違いが語ること」 森田 航 博士

(国立科学博物館人類研究部 研究員 兼 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻 准教授)

歯は非常に硬いため化石資料が豊富である。その形は、食性を反映すると共に、形態形成時の遺伝的な制御も強く、系統関係をよく反映する。本講演では、トルコのフィールドワークで得られた歯の化石の形態分析を通して見えてきたホモ・サピエンスのユーラシア拡散の基点の様相を紹介する。さらに、人類進化過程に起きた歯の形の変化を、実験動物の歯の分析から発生遺伝学的要因により説明し、包括的な人類進化史の理解に向けた人類進化発生学の展望についても議論したい。

16:15~ 2024年度 MACS 学生説明会

スタディーグループ(SG)の代表教員・参加教員による企画説明(各5分)

- ・データ同化の数理と応用：理論モデルとデータをつなぐデータサイエンス
代表教員：坂上 貴之(数学・数理解析専攻)
- ・物理と生物をつなぐ
代表教員：佐々 真一(物理学・宇宙物理学専攻)
- ・生命のダイナミクス：本物を観て(観察)考える(数理)
代表教員：高橋 淑子(生物科学専攻)
- ・自然科学における統計サンプリングとモデリング：数理から実践まで
代表教員：林 重彦(化学専攻)
- ・理化学研究所と MACS を繋ぐパイプライン
代表教員：三上 亙太(サイエンス連携探索センター)
- ・自然界が生み出すパターンを観測し、その形成過程を読み解く
代表教員：大谷 真紀子(地球惑星科学専攻)
- ・疾患における集団的細胞挙動の数理モデルの開拓
代表教員：坂上 貴之(数学・数理解析専攻)
- ・機械学習と理学の融合
代表教員：橋本 幸士(物理学・宇宙物理学専攻)
- ・XR で見る・3D で触る先端科学
代表教員：稻生 啓行(数学・数理解析専攻)
- ・みんなで学ぶ数理物理
代表教員：楠岡 誠一郎(数学・数理解析専攻)
- ・暗号理論の数理と社会実装
代表教員：伊丹 将人(サイエンス連携探索センター)
- ・外れ値でみる理学
代表教員：宮路 智行(数学・数理解析専攻)
- ・誰も見たことのないものを見るための技術
代表教員：富田 夏希(サイエンス連携探索センター)

17:30~ 継続討論会

(コロキウム講演者・SG 参加教員との自由な雑談)

今年度の SG の情報は以下の HP から得ることができます。

<https://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/academics/programs/macs/sg>

森田 航 博士



●備考

◎本コロキウムは理学部・理学研究科の学生・教職員が対象ですが、京都大学・理化学研究所に在籍されている方はどなたでもご参加いただけます。

◎学内教育プログラムに関するイベントであるため、学外・一般の方の登録は原則不可としております。ご登録いただきましてもリストより削除させていただくことがあります。

◎SGの参加対象は主に理学部・理学研究科の学生が参加対象です。それ以外の学生の登録も可能ですが、参加希望者多数の場合は調整の可能性があります。

◎問い合わせ先：macs * sci.kyoto-u.ac.jp
(*を@に変えてください)



理化学研究所 数理創造プログラム (iTHEMS) 協賛

iTHEMS RIKEN interdisciplinary Theoretical & Mathematical Sciences

MACS 教育プログラム
数理を基盤として新分野の自発的創出を促す理学教育プログラム

macs京大 検索